

基本機能要件表【要求事項】

① キャッシュレス決済端末

項番	内 容
① - 1	1台の端末でクレジットカード、電子マネー及び二次元コード決済に対応できるもの。
① - 2	1台の端末で一連の決済処理の実行が可能であること。
① - 3	現金決済の処理や記録等も可能であること。なお、②の機器を設置する窓口で、②の機器で本要件を満たす場合は、この限りではない。
① - 4	提示されたクレジットカード等の信用照会は、即時与信が可能であること。
① - 5	カード決済承認番号が即時取得可能であること。
① - 6	インターネット環境未整備のため決済センターとの通信は、原則として通信機内蔵のもので、4G(LTE)または5Gにより行うこととし、通信料等については、本件業務に含めることとする。ただし、それ以外の通信手段であって、受注者が独自に調達可能であり、セキュリティ上の安全性も確保され、かつ整備費及び通信費を本件業務に含めることができる場合にはこの限りではない。 なお、通信機を内蔵しない機器を提案する場合は、別紙1「導入窓口一覧」に記載する窓口の特徴への対応について提案すること。
① - 7	決済の取消が可能で決済ブランドによる決済処理後、キャンセルが発生した場合の取消機能を有していること。
① - 8	レシートプリンタ機能を有していること。また、当該レシートに記載する発行者名等について発注者が管理画面等から登録できること。なお、発注者による登録ができない場合は、発行者名等の登録及び修正について保守業務に含めること。
① - 9	POS機能を付帯させる場合、商品選択ができること。また、商品・金額は、発注者が管理画面等から登録できること。
① - 10	POS機能を付帯させる場合、データは、クラウドサーバに長期保管されること。
① - 11	POS機能を付帯させる場合、データは、売上項目、決済種別、収納年月日等の区別に集計が可能であって、CSV形式などのデータでダウンロードすることが可能であること。
① - 12	原則、充電器による充電が可能であること(バッテリー式)。なお、電源コード式の端末を提案する場合は、別紙1「導入窓口一覧」に記載する窓口の特徴への対応について提案すること。
① - 13	Web上で取引データの確認が可能であること。

② 操作端末

項番	内 容
② - 1	①の機器と連携可能であり、決済時等に同じ処理を①と本操作端末で2回以上することがない環境を構築できるものであること。
② - 2	物理キーやタッチパネルにより決済処理やPOS機能を使用できること。
② - 3	①-6と同様の通信が可能であること、又は①やその他の機器と連携することにより通信が可能となること。有線通信による場合についても、①-6と同様とする。
② - 4	POS機能は、①の機器に搭載するものと連携しており、その他①-8、9、10、11、13の要件を満たしていること。

③ 自動釣銭機

項番	内 容
③ - 1	取扱可能金種及び収納庫容量は次のとおりとする。 国内発行紙幣3種以上(千円札:50枚以上 5千円札:20枚以上 1万円札:20枚以上) 国内発行硬貨6種(各金額硬貨:各100枚以上)
③ - 2	②の機器と連携し、現金決済処理ができること。
③ - 3	③-1の全金種は、還流できること。
③ - 4	新500円硬貨に対応していること。
③ - 5	停電等、緊急時には手動でドロアの開閉ができること。

④ ドロア

項番	内 容
④ - 1	②の機器と連携し、必要なタイミングに自動でドロアが開くこと。
④ - 2	紙幣及び硬貨を分類して保管できること。
④ - 3	停電等、緊急時には手動でドロアの開閉ができること。